

復興ありがとうホストタウン連絡協議会 第2回総会
議事要旨

日 時：令和元年11月4日（月・祝）13：10～13：25

場 所：Jヴィレッジ「Jホール」

出席者：

東京オリンピック・パラリンピック担当大臣	橋本 聖子（はしもと せいこ）
岩手県 文化スポーツ部参事兼スポーツ振興課総括課長	藤田 芳男（ふじた よしお）
宮古市 副市長	桐田 教男（きりた のりお）
花巻市 市長	上田 東一（うえだ とういち）
釜石市 副市長	窪田 優一（くぼた ゆういち）
山田町 副町長	吉田 雅之（よしだ まさゆき）
宮城県 オリンピック・パラリンピック大会推進局長	大山 明美（おおやま あけみ）
気仙沼市 副市長	赤川 郁夫（あかがわ いくお）
名取市 教育部長	菊池 博幸（きくち ひろゆき）
岩沼市 副市長	鈴木 隆夫（すずき たかお）
東松島市 市長	渥美 巖（あつみ いわお）
加美町 町長	猪股 洋文（いのまた ひろぶみ）
福島県 副知事	鈴木 正晃（すずき まさあき）
福島県 文化スポーツ局次長	小林 真（こばやし まこと）
喜多方市 教育部参事	佐藤 健志（さとう たけし）
二本松市 教育部長	市川 博夫（いちかわ ひろお）
南相馬市 市長	門馬 和夫（もんま かずお）
伊達市 総合政策課長	木村 正彦（きむら まさひこ）
本宮市 国際交流課長	鈴木 正史（すずき まさし）
川俣町 副町長	猪狩 則光（いがり のりみつ）
北塩原村 副村長	小椋 渉（おぐら わたる）
広野町 町長	遠藤 智（えんどう さとし）
檜葉町 町長	松本 幸英（まつもと ゆきえい）
飯舘村 教育長	遠藤 哲（えんどう さとし）
内閣官房東京オリンピック・パラリンピック推進本部事務局企画・推進統括官	勝野 美江（かつの みえ）
内閣官房東京オリンピック・パラリンピック推進本部事務局参事官	荒井 陽一（あらい よういち）

1. 挨拶

○橋本 東京オリンピック・パラリンピック担当大臣

- ・本日は「復興ありがとうホストタウン連絡協議会」第2回総会にお集まりいただき、感謝申し上げます。
- ・本会議開催にご尽力いただいた福島県、広野町、檜葉町をはじめ、会場をご提供頂いているJヴィレッジの方々、そして本日お集りの皆様方に、御礼を申し上げます。
- ・先日の台風19号、その後の豪雨などによって、東北地方においては甚大な被害が出ている。被害に遭われた方にお見舞いを申し上げますとともに、復旧対応にご尽力されている皆様に敬意と感謝を表す。

- ・政府としても全力で復旧・復興に努めて参りますので、ご協力宜しくお願い申し上げます。
- ・第1回連絡協議会から5か月ほどが経過いたしましたして、大会まで9ヶ月となり、急ピッチで大会の準備も取り組んでいる。
- ・「復興ありがとうホストタウン」は現在27件。9月には米国を相手国とする「復興ありがとうホストタウン」である花巻市、大船渡市、喜多方市の3市がロサンゼルスジャパン・ハウスで、米国への感謝の気持ちの発信と交流の模様を発表していただいた。2028年大会の開催地であるロサンゼルスで復興ありがとうホストタウンをアピールしていただけたことは、これこそが次へのレガシーにつながっていくものだと確信した。
- ・このような素晴らしい取組を世界の皆様を知っていただけるよう、この連絡協議会では、各自治体の皆様方からのご意見も伺い、より緊密に連携してより効果的な活動を行っていきたいと考えている。本日は、どうぞよろしくお願い申し上げます。

○鈴木 福島県副知事

- ・はじめに台風19号で亡くなられた方に対して、心から哀悼の意を表しますとともに、被害に遭われた皆様に心からお見舞いを申し上げます。
- ・本日、復興ありがとうホストタウン連絡協議会第2回総会をここ福島県で開催されること、感謝を申し上げます。
- ・復興ありがとうホストタウンの取組に対しては、これまで世界中からいただいたご支援に対する感謝を伝え、復興が進む姿を世界へ発信する絶好の機会である。
- ・福島県内では10の市町村が復興ありがとうホストタウンに登録され、相手国との交流に向けた様々な取組が進んでいるところ。
- ・県としても、復興ありがとうホストタウンの取組を通じて生まれた交流の輪を広げ、東京2020大会後も末永く交流が進むことを支援して参りたい。
- ・また、福島県では東京2020大会に向けて2つの大きな役割がある。
- ・1つ目は全国を巡る聖火リレーのスタートがここJヴィレッジから始まること、2つ目は野球・ソフトボールの競技が開催することになっており、ソフトボールは大会全体のスタートを飾る試合であること。
- ・非常に責任のあることであるが、関係者の皆様さまと一体となって、頑張っていくので宜しくお願い申し上げます。
- ・復興ありがとうホストタウンの取組が更に充実したものになるよう祈念する。

○遠藤 広野町長

- ・第19号の台風、大雨によります尊い命を亡くされた皆様に哀悼の意を表すとともに、1日でも早い復興・再生を祈念する。
- ・本日、Jヴィレッジにおいて橋本東京オリンピック・パラリンピック担当大臣のご臨席のもと、皆様とともに復興ありがとうホストタウンサミットが開催されること、感謝、御礼申し上げます。
- ・東日本大震災から私たちは東北一会として願うこの故郷を守ることを願い、この日を迎えたところ。
- ・国内社会はもとより、国際社会へとこの感謝と感動をこの復興五輪の取組を通して、国内外に伝えていきたい。
- ・皆様とともに東京オリパラの成功、そして盛り上げていき、新たな時代創世への幕開けと受け止めていきたいと思う。

○松本 檜葉町長

- ・この度の災害により、犠牲に遭われた皆様に対して、哀悼の意を表すとともに、お見舞い申し上げます。
- ・第2回連絡協議会総会がここJヴィレッジで開催されること、心から歓迎を申し上げます。
- ・Jヴィレッジは東日本大震災・原発事故後に主に復旧の拠点となった場所であったが、今年の4月に復興のシンボルとしてグランドオープンしたところ。
- ・また、10月にアルゼンチンとの復興ありがとうホストタウンに登録され、今後交流を進めていきたいと考えている。
- ・復興五輪を掲げた東京大会が多くの皆様に勇気と感動をあたえ、その後のレガシーを末永く継承できるような大会にしたい。

2. 議事

(1) 会長の選任について

(司会)

- ・今回、大臣の交代があったので新たに会長を選任する必要がある。事務局で事前に調整した結果、会長については橋本大臣にお願いすることを提案したい。
- ・ご承認いただける出席者の皆様には、拍手を願う。(拍手)出席者の承認をいただいたので、会長にご就任いただく。

(2) 「復興ありがとうホストタウン大使」の任命について

(内閣官房より説明)

- ・「復興ありがとうホストタウン大使」につき、岩手県はイシツブテ、宮城県はラプラス、福島県はラッキーの3匹のポケモンが一体となって活躍いただけることになった。

(3) 今後の復興ありがとうホストタウン連絡協議会の活動について

(内閣官房より説明)

- ・資料1をご覧ください。適宜、参考に資料2以降をご確認願う。
- ・7月に第1回連絡協議会を開催した際にアンケートをとった結果を活用し、様々な活動を行っていき、共同でのSNSの情報発信をさせていただいたところ。
- ・内閣官房オリパラ事務局でホストタウンアピール実行委員会HPを活用した効果的な情報発信の方法を構築中であり、準備ができ次第、ご協力の連絡をする。
- ・資料1に記載のとおり、7月の第1回連絡会議総会を開催以降、各イベントを開催した。
- ・来年の4月～5月に第3回総会を宮城県内での開催を想定し、調整中。
- ・2020年東京大会期間中には、2020ホストタウン・ハウスでの特設コーナーを設置予定。

(4) 意見交換

- ・特になし

以上